

警察官等を騙った特殊詐欺事件の発生について

1 認知

令和8年3月22日(日)

2 発生日時

令和8年3月21日(土)午後0時ころから同日午後2時ころまでの間

3 被害品

キャッシュカード4枚

現金250万円

4 被害者

和歌山市内居住 80歳代 女性

5 状況

令和8年3月21日午後0時ころ、被害者の自宅に商業施設の従業員を名乗る女性から「あなた名義のキャッシュカードで購入履歴がある。」などと電話があり、被害者が心当たりが無い旨を伝えると、電話が転送され、和歌山北警察署の警察官を名乗る男性から「犯人を捕まえたところ、大量のキャッシュカードがあり、その中にあなた名義のキャッシュカードもあった。キャッシュカードを新しくする必要がありますので、これから金融庁の者を自宅に向かわせる。」などと言われました。

同日午後2時ころ、被害者方に金融庁の職員を名乗る女性が現れ、被害者がキャッシュカード4枚を渡すと、女性は持参した封筒にキャッシュカードを入れた後、「封筒に割印をするので印鑑を持ってきて欲しい。」などと被害者に申し向け、その場から離れ、戻ってきた被害者に「新しいキャッシュカードを持ってくるまで、この封筒は保管してください。」と説明し、封印した封筒を被害者に手渡し、その場から立ち去りました。

その女性が去った後、被害者が、和歌山北警察署の警察官を名乗る者に電話をしたところ、「自宅に現金を保管していれば、銀行に預けた方が良い。先程の者を受け取りに行かせる。」と言われ、被害者方に再度現れたその女性に現金を手渡しました。

その後、現金を知らない人に渡したことが心配になった被害者が当署に相談したことから、詐欺の被害が判明したものです。

6 その他

和歌山県警察では、

特殊詐欺被害防止専用フリーダイヤル

その話ホンマに大丈夫? かけて損なし『ちょっと確認電話』

電話番号 0120-508 (これは) -878 (わなや)

を開設(24時間)しています。

警察官をかたる詐欺が多発しています。

警察官が「資金調査」などを理由にお金を振り込ませたり、お金を回収したりすることは絶対にありません。

そのような電話があれば、詐欺を疑って、すぐに『ちょっと確認電話』へ確認してください。